

高金利引下げ全国連絡会の代表と懇談

党国会議員団
対策チーム



9月29日、日本共産党国会議員団・高金利引き下げ対策チームが、宇都宮健児弁護士をはじめとする高金利引き下げ全国連絡会の代表と懇談しました。対策チームの大門みきし責任者・参院議員、佐々木憲昭副責任者・衆院議員、仁比そつへい事務局長・参院議員、吉井英勝副責任者・衆院議員です。世論と運動そして国会論戦の力によって、7月にグレイゾーン廃止の方向を出させました。しかし、その後、与党内の業界関係議員の巻き返しにより、世論や金融庁懇談会の議論を無視した金融庁案が出され、世論の猛烈な批判をあげました。このなかで自民党は、9月15日に妥協的な案を出しました。その内容は、利息制限法が規定している15%から20%の金利の金額刻みを変えて、事実上、金利を引き上げる中身となっています。まさにいま、世論・国会内の良識派と業界・癒着議員のせめぎ合いとなっており、国会内外の情勢をふまえて、お互いの今後の運動方針を交流しました。

教育基本法を守る 集会デモで報告・激励



9月29日、井上さとし参院議員。朝9時から国会対策委員会、午後から参院本会議。終了後、公務員共闘のデモ行進の激励。さらに議員会館前で開かれた教育基本法改悪反対の全教の集会で挨拶。夜は文化団体連絡会主催の教育基本法問題の学習会で国会情勢の報告をしました。

瀬古さん、「新婦人有志後援会デー」で活動



9月28日、瀬古由起子元衆院議員は、豊橋市の「新婦人有志後援会デー」

に参加。ある班後援会ではお昼のしめじごはんを頂きながらの小集会。「安倍政権ってとっても怖い感じがするわね」「最近トヨタの社宅に自転車が多くなった。これは派遣の労働者のものなのね。若い人たちが悪い労働条件でいつまでも働いていて未来がないわ」「せめて人間として文化的な生活・新婦人でお花見小组をしたり、年に何回かお芝居ぐらい観れるような生活ができないのかしら」「障害は自分の責任ではないでしょう」・・・1時間の予定が2時間もの大討論になりました。

参院本会議の代表質問が実現

9月29日、参院本会議前の議会運営委員会理事会で、所信表明への質疑時間が決まり、日本共産党、社民党もそれぞれ10分の質問ができることになりました。

今国会でも26日の開会日に質問の保障を要求して、井上さとし参院議員・国対委員長が社民党と参院議長に申し入れるなど、この間の粘り強い申し入れが実ったものです。

新総理に様々な角度から質問してこそ国民からの参院への付託と期待に応えることになる、と粘り強く申し入れてきたことが実ったものです。

さらに、党首討論での質問実現など議会制民主主義の拡充をめざします。